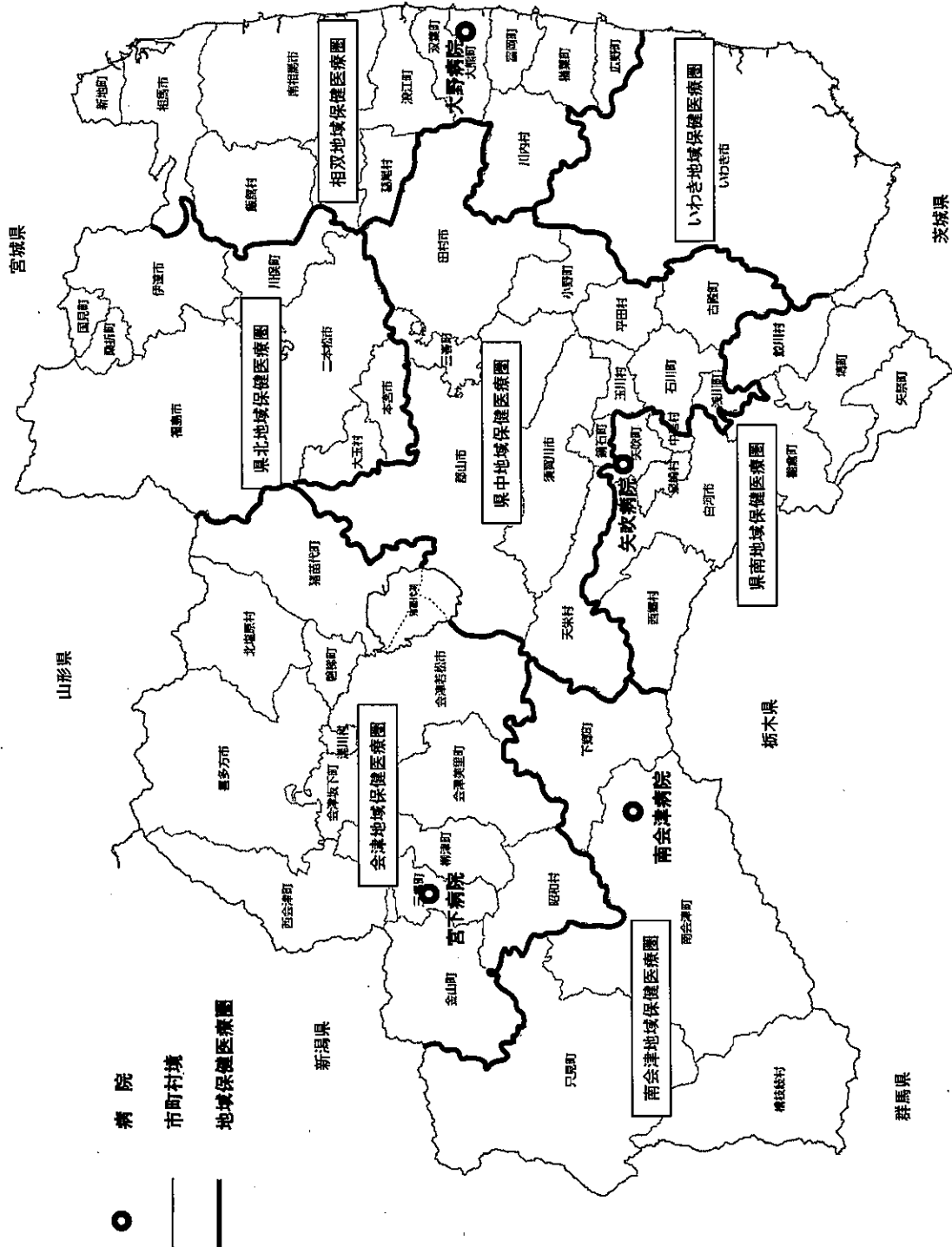


第1章 県立病院の概況

1 県立病院の所在地



(平成27年3月31日現在)

2 県立病院事業概況

平成26年度の事業の概要は次のとおりである。

(1) 診療状況

平成26年度に県立病院で診療を行った患者数は、入院が延べ 73,890 人で前年度より 6,825 人(8.5 %)減少し、外来は延べ 94,459 人で前年度より10,459 人(10.0 %)減少している。また、入院・外来共に、宮下病院で増加、矢吹病院・南会津病院で減少している。

なお、大野病院については、東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故の影響により休止している。

次に、診療科別に見ると、入院では内科外5診療科で減少している。また、外来では小児科で増加し、内科外9診療科で減少している。

(2) 施設設備の整備

ア 耐震改修実施設計(宮下病院)、太陽光発電設備等整備工事(南会津病院)を行った。

イ デジタルX線画像診断装置(矢吹病院)、臨床検査システム(宮下病院)、全自動錠剤分包機(南会津病院)など医療機器等の購入整備を行った。

ウ 旧喜多方病院の解体工事、旧会津総合病院及び旧リハビリテーション飯坂温泉病院の解体設計を行った。

(3) 収支状況

平成26年度における総収益は 6,840,883 千円で、前年度と比較して 61,295 千円(0.9%)増加している。一方、総費用は 8,378,866 千円で、前年度と比較して 943,444 千円(12.7%)増加している。この結果、差引純損失は 1,537,983 千円となり、前年度と比較して 882,149 千円(134.5%)増加している。

また、医業収益の 2,803,754 千円から医業費用の 5,863,464 千円を差し引いた医業損益は △3,059,710 千円となり、損失額が前年度と比較して 276,657 千円(8.3 %)減少している。この結果、総収益対総費用比率は 81.6%、医業収益対医業費用比率は 47.8%となっている。

主な費用について見ると、給与費は 3,642,651 千円で前年度と比較して 336,694 千円(8.5%)減少したが、これは会津総合の廃止に伴う職員数の減などによるもので、医業収益に対する割合では 129.9%となり、前年度より 9.8 ポイント増加している。また、薬品費等の医療材料費については 463,014 千円で、会津総合の廃止などにより、前年度と比較して 167,610 千円(26.6%)減少しており、医業収益に対する割合も 16.5%と前年度より 2.5 ポイント減少している。

累積欠損金は、自己資本金の減資などを行ったことにより、前年度より 15,592,963 千円減少して 12,626,697 千円となり、医業収益に対する累積欠損金比率は 450.3%と前年度と比較して 401.5 ポイント減少している。なお、一般会計から負担金・補助金として繰り入れた額は、収益的収入 3,280,706 千円、資本的収入 588,738 千円で合計 3,869,444 千円となり、前年度と比較して 925,392 千円(19.3%)減少している。

3 県立病院の機構

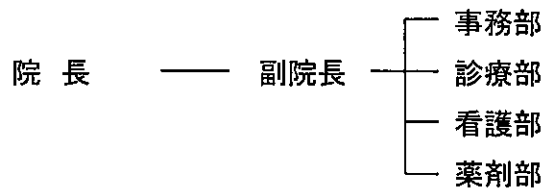
平成27年4月1日現在

〔本局〕

病院事業管理者 —— 病院局長 —— 病院局次長 —— 病院経営課

〔病院〕

矢吹病院、宮下病院、南会津病院、大野病院



4 県立病院現況

福島県立病院は、昭和24年に日本医療団から譲り受けた7病院、17診療所を主体として発足し、その後医療行政の一環として、医療に恵まれない地域における病院の設置及び他の公共団体に対する移管等を行い、現在は4病院を有している。

区分 病院名	所在地	開設年月	標榜診療科名 ○は非常勤医師の診療科 【】は休診中の診療科	病				床		看護体制	入院時食事療養 実施状況	備 考
				一般	結核	精神	感染症	計				
矢吹	969-0284 西白河郡矢吹町滝八幡100番地 (0248) 42 - 3111(代)	30.11	精・内・(菌)		206			206	15 対 1 看護補助加算1	I	昭和57年9月1日 精神 288 → 300 伝染 20 → 0 平成5年4月1日 精神 300 → 296 平成12年4月1日 精神 296 → 295 平成20年1月1日 精神 294 → 206	
宮下	969-7511 大沼郡三島町大字宮下字水尻1150番地 (0241) 52 - 2321(代)	26.11	内・【外】・(瘡)・ (整)・(耳)・(神 精)・(皮)	32				32	10 対 1	I	昭和56年3月14日 一般 45 → 55 結核 10 → 0 平成元年9月1日 伝染 10 → 0 平成21年4月1日 一般 55 → 32	
南会津	967-0006 南会津郡南会津町永田字風下14番1 (0241) 62 - 7111(代)	24. 7	内・(神内)・(漢内)・ 外・整・(産婦※産は林 診)・小・(耳)・(眼)・ (皮)・(神経)・(麻)・ (泌)	98				98	10 対 1	I	昭和56年8月31日 結核 15 → 0 平成7年3月31日 伝染 15 → 0 平成7年4月12日 一般 75 → 150 平成21年3月31日 一般150 → 100 平成25年4月1日 一般100 → 98	
大野	979-1308 双葉郡大野町大字下野上字大野98-1 (0240) 32 - 2240(代)	26.12	【内・消内・外・整・ 小・麻・眼・呼・泌・ 産婦】	146			4	150	7 対 1	I	昭和63年3月25日 一般 110 → 158 結核 50 → 伝染15 平成4年9月30日 伝染 15 → 0 平成15年1月14日 一般 158 → 146 感染 0 → 4	
計				276	0	206	4	486				

平成26年3月31日現在

5 施設の概要

平成27年3月31日現在 (単位:m³)

区分 病院名	土地面積				建物面積										積		構造区分		
	庁舎用	公舎用 (含看宿)	その他	計	庁					舎					看護師 宿舎	公 舎	計	本館 (建設年月)	看護師宿舎 (建設年月)
					耐火 簡易耐火	木 造	館	計	耐火	簡易耐火	木 造	属	棟	計					
矢吹	26,383.98	336.00	9,008.46	35,728.44	13,064.46		13,064.46	127.57	54.19		181.76	630.57	65.28	13,942.07		鉄筋コンク リート3階 (S59.3)	鉄筋コンク リート3階 (S42.5)		
宮下	4,373.92			4,373.92	2,205.16		2,205.16					178.56		2,383.72		鉄筋コンク リート3階 (S44.11)	本館3階 (S44.11)		
南会津	20,216.80			20,216.80	8,998.30		8,998.30	418.64			418.64	1,136.82	887.10	11,440.86		鉄筋コンク リート3階 (H7.1)	鉄筋コンク リート4階 (H7.2)		
大野	26,599.01			26,599.01	10,426.59		10,426.59	126.20			126.20		188.37	10,741.16		鉄骨+鉄骨鉄筋 コンクリート4階 鉄筋コンクリート 3階(手荷物) (H14.11)			
計	77,573.71	336.00	9,008.46	86,918.17	34,694.51		34,694.51	672.41	54.19		726.60	1,945.95	1,140.75	38,507.81					

6 県立病院の沿革

(1) 矢吹病院

年	月	概要
昭和	30年11月	県立矢吹精神病院(病床100床)として開設
	31 3	生活保護法による医療機関に指定
	31 11	結核予防法による医療機関に指定
	33 6	病棟(38床)、管理診療棟増築
	34 8	矢吹町ほか1ヶ村一部事務組合立隔離病棟(20床)併設
	37 7	病棟(55床)増築
	38 1	県立矢吹病院と改称
	38 5	病棟(55床)増築
	40 8	病棟(50床)増築
	41 6	病棟(50床)増築
	42 5	看護婦宿舎(40人収容)新築
	42 6	生活療法棟新築
	47 12	病床(60床)減少 病床数288床
	57 9	病床増床 精神 288床 → 300床 伝染病床廃止 20床 → 0床
	58 10	全面改築建築工事着工
	59 3	建築工事完成
平成	3 4	精神科デイ・ケア施設承認
	5 4	第2病棟閉鎖 許可病床数変更(300床 → 296床) 運用病床数変更(280床 → 242床)
	12 4	第1病棟閉鎖、保護室増築 許可病床数変更(296床 → 295床) 運用病床数変更(242床 → 206床)
	15 9	許可病床数変更(295床 → 294床)
	19 9	内科外来開設
	20 1	許可病床数変更(294床 → 206床)
	23 8	児童思春期外来開設
	24 1	精神科応急入院指定病院に指定

(3) 宮下病院

年	月	概 要
昭和	26年 11月	宮下病院開設 診療科目(内科・外科・産婦人科):一般 24床
	27 6	病棟増築 9床増床:一般 33床
	28 11	伝染病隔離病舎併設(病床数 13床)、一般 4床増床:一般 37床 伝染 13床 計 50床
	32 11	病棟増築 8床増床:一般 45床 伝染 13床 計 58床
	33 6	病室改造 2床減床:一般 43床 伝染 13床 計 56床
	35 9	病床区分変更:一般 23床、結核 20床、伝染 13床、計 56床
	39 5	病室改造 一般 3床減床:一般 20床、結核 20床、伝染 13床 計 53床
	39 7	眼科診療開始→[54年2月休診]
	44 12	病院庁舎改築移転 診療科目(内科・外科・産婦人科・眼科) :一般病床 45床、結核病床 10床 計 55床(隔離病床 伝染 10床併設)
	45 7	産婦人科休診
	45 7	整形外科診療開始→[48年休診]
	56 4	結核 10床を一般病床に変更:一般 55床、伝染 10床 計 65床
平成	元 9	伝染病床廃止 10床 → 0床:一般 55床
	5 7	整形外科診療再開
	6 3	全身用コンピューター断層撮影装置室増築
	6 11	神経精神科診療開始
	8 10	耳鼻咽喉科診療開始
	14 2	(財)日本医療機能評価機構の認定取得
	16 6	へき地医療拠点病院に指定
	19 5	皮膚科診療開始
	19 6	患者送迎バス運行開始
	21 4	許可病床数変更(一般 55床 → 一般 32床)
	22 1	救急協力病院に認定
	24 7	循環器内科診療開始
	25 4	外科休診

(4) 南会津病院

昭和	24年 7月	日本医療団より移管され、県立田島病院として設置
	27 8	病院新築(60床)
	39 11	病棟増築 32床増床 計 92床
	41 2	外科手術室を増築
	45 12	病院庁舎を改築、移転
	56 8	結核 15床を一般病棟に変更、一般 75床、伝染 15床、計 90床
	58 12	救急協力病院に認定
平成	3 3	県立田島病院整備基本構想を策定
	4 3	移転改築のための用地取得(田島町風下地内 20,816m ²)
	4 4	運用病床数変更(一般 69床 → 71床)
	5 7	新病院建築工事着工
	6 5	職員宿舎建築工事着工
	6 12	新病院建築工事竣工 病床数 150床 建物 鉄筋コンクリート2階建、延面積 8,998.30m ²
	7 2	職員宿舎建築工事竣工(医師 10名、職員 24名)
	7 4	診療開始・病院名称変更[県立田島病院 → 県立南会津病院] 診療科目[内科(人工透析含む)、外科、産婦人科、小児科、整形外科、 眼科、耳鼻咽喉科]
	8 11	地域災害医療センターに指定
	11 4	救急病院として告示
	12 5	麻酔科診療開始
	16 6	へき地医療拠点病院に指定
	19 2	皮膚科診療開始
	21 3	許可病床数変更(150床 → 100床)
	22 3	神経精神科診療開始
	23 4	泌尿器科診療開始
	24 10	電子カルテシステム整備
	25 4	許可病床数変更(100床 → 98床)
	26 4	漢方内科診療開始
	27 3	太陽光発電設備等整備

(5) 大野病院

年	月	概要
昭和	26年12月	大野病院開設 診療科目(内科・外科・産婦人科) 病床数 30床
	27 9	結核療養所設置 増床 160床
	29 6	福島県教員保養所併設 増床 58床
	30 3	2町1ヶ村組合立伝染病棟併設 18床 (昭 44.6 檜葉町、45.11 広野町加入)
	30 4	准看護婦養成所併設(定員 1学級 20名)
	33 3	准看護婦養成所中止
	33 4	結核看護学級を教員保養所内に開設(専任教員 2名、定員 40名) 減少 6床
	40 9	整形外科増設
	42 3	教員保養所廃止 大野病院全面移管
	46 3	全面改築のため病棟他一部解体、改築起工
	47 6	病院庁舎を改築移転
	54 9	病床 8床増床
	56 8	外来診療棟の増改築 一般病棟 2床増床(一般病床 110床、結核 50床、伝染 15床、計 175床)
	61 11	救急協力病院に認定
	63 2	全身用コンピューター断層撮影装置室増築
	63 3	結核 50床を一般病床 48床に変更、一般 158床、伝染 15床、計 173床
平成	4 9	伝染 15床を廃止
	5 3	事務室増築
	5 4	運用病床数変更(一般 158床 → 153床)
	10 9	県立大野病院整備基本構想を策定
	13 2	新病院建築工事着工
	14 10	新病院建築工事竣工 建物 鉄骨+鉄骨鉄筋コンクリート4階建、鉄筋コンクリート3階建(手術棟)、 延面積 10,426.59㎡
	15 1	診療開始 診療科目 [内科、外科、産婦人科、整形外科、眼科、麻酔科] 許可病床数変更(一般158床 → 一般146床 感染4床) 運用病床数変更(一般153床 → 一般146床 感染4床) 救急病院として告示
	15 4	呼吸器科、泌尿器科診療開始
	19 4	小児科診療開始
	21 2	消化器内科診療開始
	23 3	東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故の影響により休診

